



JST Innovation Bridge

医工融合を見据えた 学から産へのシーズ発表

近年、ライフサイエンス分野における膨大な研究成果(知識)が蓄積し、その統合的な理解への取組も進められてきているが、今後は、これらの知識を活用し、臨床医学へ応用・展開する取組の促進が望まれる。さらに、これら知識と工学が融合すれば医療技術のイノベーションの創出が期待される。ここでは、大学等の研究者(臨床医)から医療の現状、問題点・要望、将来動向等を発表し、応用物理学会所属の企業の視点で異分野融合に結びつこうるテーマを探索し、イノベーション創出の種を見出すための研究発表会を開催する。合わせて応用物理学会からは医工連携の代表的取り組みの最新状況について発表する。今回は、応用物理分野のアカデミック・ロードマップ技術クラスターNo.13「医療エレクトロニクス」に取り上げられた複数の領域を中心に、産学共同研究に向けた産と学との出合いの「場」を提供する。本発表会により新たな出合いが生まれ、JST公募事業「産学共同シーズイノベーション化事業」への応募等、産学連携に発展することを期待する。

日時 2008年9月4日(木) 13:00~16:30
第69回応用物理学会学術講演会 3日目

場所 中部大学 春日井キャンパス 2号館2F-223(ZV会場)

13:00~13:15	イントロダクトリートーク ＜体外から診断・治療する技術＞	小原 満穂(JST)
13:15~13:45	画像診断(最新状況説明)	遠藤 啓吾(群大医)
13:45~14:15	画像診断(個別研究発表)	間賀田 泰寛(浜松医大 光量子医学研セ)
14:15~14:45	京都大学の医工連携の取り組み 科学技術振興調整費「高次生体イメージング先端テックハブ」より	小林 哲生(京大院工)
14:45~15:00	休憩 ＜体内で診断・治療する技術＞	
15:00~15:30	手術支援ロボット(最新状況説明)	伊関 洋(東京女子医大 先端生命研)
15:30~16:00	手術支援ロボット(個別研究発表)	正宗 賢(東大院情報理 工)
16:00~16:30	名古屋大学の医工連携の取り組み 科学技術振興調整費「分析・診断医工学による予防早期医療の創成」より	渡慶次 学(名大院工)

■申し込み方法 ホームページよりお申し込み下さい。▶ <http://deainoba.jp/> 当日参加も可能です。
* 学術講演会の参加登録(要参加費)は別途必要です。

■問い合わせ先 科学技術振興機構 技術展開部 イノベーション創出課
TEL: 03-5214-7995 E-mail: innovdei@jst.go.jp

産学共同シーズイノベーション化事業(研究費支援公募事業)について <http://www.jst.go.jp/innovate/>

800万円の共同研究でイノベーション創出に挑戦! 優れた研究には、更に2億円/4年度の研究費支援も!